
RとNのカァディスからの手紙（105）

2006年5月12日

「ワールド・カップ」の巻

先週の「手紙」はどういうわけか一部の方のPCでは、文章全体が文字化けで読めなかったようで申し訳ありませんでした。文字化けした、とお知らせくださった方は結局お二人だけだったんですが、その外にもあったかもしれません。何故、そういうことになるのか、実は何も分かっていないんですが、やはりスペイン語の特殊文字入力に関係ありそうな気がします。

この「手紙」の特殊文字の入力の手順は次のとおりです。「コントロール・パネル」の「言語のオプション」でスペイン語を選択しておいて、タスク・バー上の「JP」（日本語）を「ES」（スペイン語）に切り替えられるようにしておきます。

メール作成画面では「書式」→「リッチテキスト(HTML)」を選択します。そして必要に応じてタスク・バーの「JP」をクリックして「ES」に切り替え、特殊文字を入力します。どのキーがどの特殊文字かは、ややこしいので省略します。

こうして作成した「手紙」を送信トレイに入れようとする時、「ユニコードで送信する」又は「そのまま送信する」の選択ウィンドウが出るので「そのまま」を選択します。この手順はスペイン語でのメール交換で何度もやっていたし（101）を送信する前にもN宛にテスト送信して、これなら大丈夫と自信を持っていたのです。

何故（104）だけ問題が生じたのか不思議です。特殊文字部分だけが文字化けしたのならまだしも、日本語部分までということがどうにも分かりません。エンコードの変換では解決できないらしく、なにかPCの細かい設定に問題があるようにも思えます。どなたか解決のヒントを教えてくださいませんか？

*

なお（104）の冒頭、コニール Cinil と書いたのは、勿論 Conil のミスです。相変わらず変換ミスやミス・スペルが多く、何回も直して、もう大丈夫と思っても、送信後プリントを見たとき気付くというオソマツ。目をつぶってください。

*

さて、今年のスペイン一部リーグは昨年が続いてバルサの連続優勝が決まりました。圧倒的豪華絢爛の選手層を誇るリアル・マドリー(D)に比べ、どちらかといえばやや地味なバルセロナが連続優勝するという事は、大金をかけて超有名選手をかき集めるだけでは強いチームを作ることは出来ない、といういい見本でしょう。

今のリアル・マドリードは組織全体があまりにばらばらになりすぎています。言葉も解らずに、映像を見ているだけの私達ですらそれが感じ取れるのですから、重症です。選手のまとまりもフロントのお歴々もナットランことがミエミエです。

「今年で引退」を決めたジダンも本当はもっとやり続けたい気持ちがあったんじゃないか、なるほど歳は歳だけど、もっと気持ちよくプレーできるチームなら、という気がするのは私達だけではないでしょう。

*

5月10日、UEFA・カップ決勝がオランダのアイントホーフェン Eindhoven で行われましたが、思いがけなく決勝まで勝ち進んだセビージャの地元は大騒ぎ。TVでは、日頃、閑散としているセビージャ空港がごった返している様子を報じていました。

普段はないアイントホーフェン行き特別便を何便も仕立てて大応援団が繰り出したようです。切符が買えなかった人は、はるばるオランダまでバスで行ったらしく、オランダからのテレビ中継ではバスの横っ腹に Andalucía の文字も・・・。

そのセビージャが、信じられないような4-0という快勝で優勝。私達がコレまでに見たセビージャの試合では最高のデキでした。いま、フットボール好きの注目の的は、17日にパリで行われるUEFA・チャンピオンズ・リーグの決勝戦、バルサ対アーセナルのゲームです。スペイン・チームのアベック優勝なるかどうか？

その試合はスペイン版NHKのTVEという局で中継されます。私達もその日は晩酌をやりながら観戦するつもりで、楽しみにしています。何しろフットボールの試合中継は、私達でも言葉のハンデなしに100%楽しめる唯一の番組ですからね。

*

そして、チャンピオンズ・リーグの優勝が決まったあとは、ワールド・カップが待っています。コパ・ムンディアル Copa Mundial です。

スペイン・ナショナル・チームは、はっきり言ってひところの強さは全く陰を潜めているような気がします。親善試合などでもスカーッと気分良く勝ったためしが無い。果たしてこんなことで予選リーグを勝ち抜けるかと危ぶんでいましたが、クジ運だけはよかったらしく、スペインが属するグループHのメンバーは、ウクライナ、チュニジア、サウディ・アラビア。これならまあ大丈夫でしょう。

我がニッポンはちょっと苦戦ですね。ブラジルの三戦全勝は堅いとして、クロアチアとニッポンがどんな戦いを展開するか、日本ではどんな予想をしてるんでしょうか。6月9日の開幕戦が待たれるところです。

*

ところが、どうやら普通の無料テレビ局ではワールド・カップの試合は全然見れないらしいことが、分かってきました。そんなバカナ。じゃあ、どーする。リアル・タイムで見れるとこにいながら何にも見れないなんて、あんまりです。

些か焦り気味に色々調べていたらこんな広告ビラを見つけました。この DIGITAL+ という有料局が全試合の放映権を独占しているらしい。キッターネーナー。しょうがないこの際少々の出費は我慢しよう。

早速電気屋に・・・。店番は体格堂々のオバサン。あの一、コパ・ムンディアルを見たいんだけど、と言うと、アア、ディヒタール・プルスね、じゃあ、まずコレを買って、と取り出したのが次のパッケージ。



あれっ、デコーダーには薄っぺらだなーと思ったら、そうじゃないんですね。

オバサンは封印をはずすと中に入っているパンフレットの電話番号と申込書に貼ってある識別番号のラベルを示して、この電話番号にこのナンバーを言って申し込むのヨ、そしたら工事の人がきてくれるから。

あっ、そりゃダメ、そんな電話は難しくてデキマセン。電話しなきゃならないんならやめます。だってアンタ話できてるじゃないノ。ええ、少しはね、でも、電話はダメ、第一聞こえない。読む・書くはいいけど、話す・聞くはダメ、特に聞くのは全くダメ。(どうも最近電話での話が、たとえ日本語でさえ良く聞こえないんです。nからの電話ぐらいしか話す機会はないんですが、とにかく電話は苦手。)

イイワ、じゃ、あたしがやっタゲル。オバサンはそれから暫く電話で喋り捲っていました。識別番号のほかには住所・氏名・電話番号・DNI(身分証明書)番号などを聞かれています。エストランヘロが一、とかいうのが聞こえましたから、わけのわかんない外国人が来てサー、とかナントカ言ってたに違いない。

いあー、でも助かりましたホントニ。ムーチャス・グラシマス・セニョーラ。デ・ナーダ(いいのよ)、48時間か72時間で工事の人が行くからネー。

それにしても、スペイン・オバサンの口から48時間とか72時間とか細かく数字で言われた経験はないなー、と思いました。家に帰ってパンフを良く見たら申し込みを受けたら「タッタ48時間で工事人を差し向けます」と書いてありました。しかし、結局48時間では来ず、家に電話連絡があったのは72時間後、工事人が来のは96時間後でした。

オバサンもそんなにキッチリできっこない、ということは良く分かってるから、まあ2~3日中にネ、というつもりで、ついパンフにつられてつい48時間とか72時間とか時間で言ってしまったんでしょね。

ところで、このパッケージ、ついこの間まで、テレビで「タッタ6ユーロ」というコマーシャルが流れていました。その時はコレでしかワールド・カップが見れないなんて知らなかったので無視していました。宣伝が下手だなー。

いや、そう言っていたのに私達がそう聞き取れなかっただけかも知れない。

6ユーロが30ユーロに化けるなんてことも知らなかった。そしてフトボールを見るオプションには、更に月々29.95ユーロの料金が掛かります。30ユーロは言わば工事費ですね。とにかくこれでコパ・ムンディアルのカマエは出来た。メダタシ。ムンディアルが終わり次第解約しよう、解約方法を良く聞いとかなきゃ。

*

*

*

*

「メディーナ・シドニア」の巻

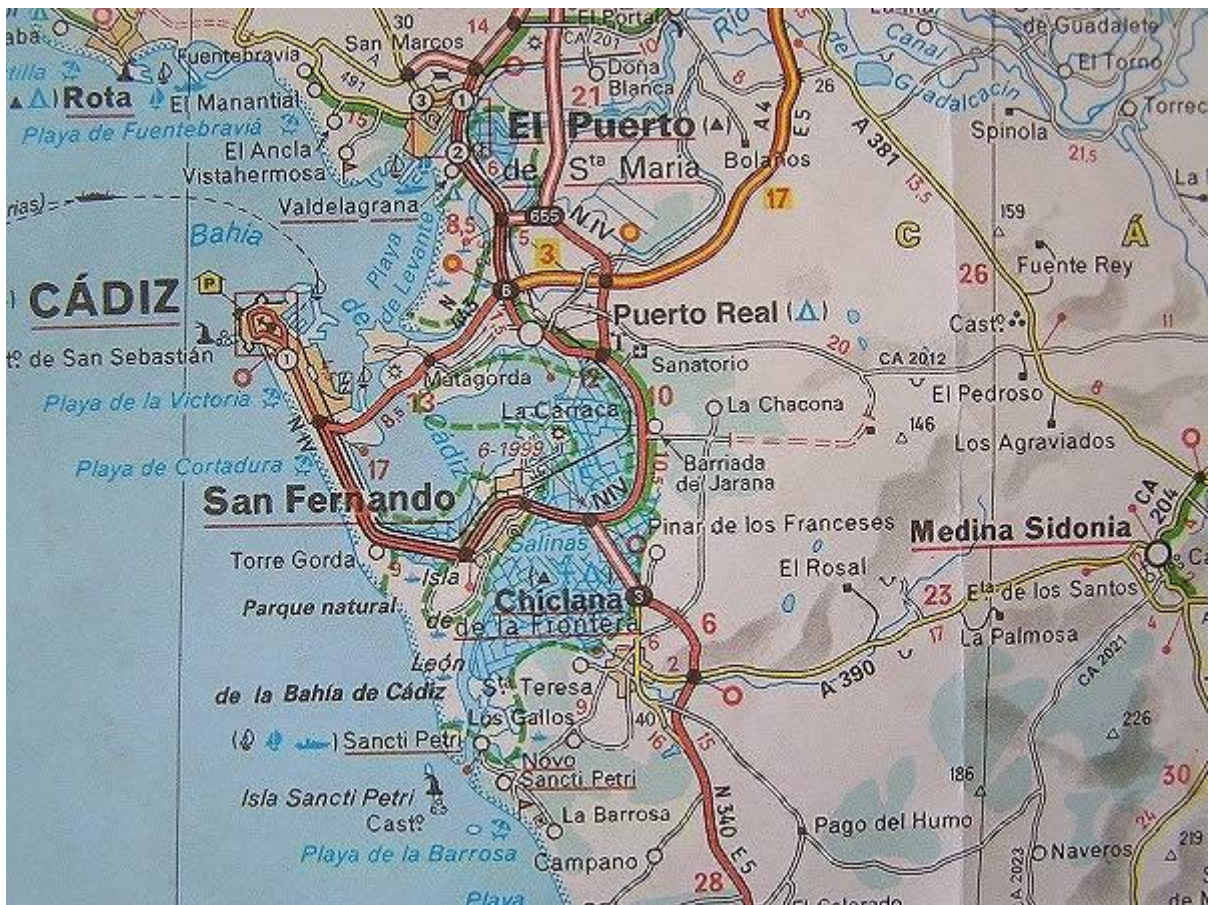
私達が遠足で出歩く先は圧倒的に海岸が多いんですが、たまには山にも行きます。山へと言ったって、歩いて、ではありませんけどね。この境界の山の町という「アンダルシアの白い村」というキャッチ・フレーズで旅行案内書などで紹介されている所が多いですが、今回の町はそれほど名が売れていないので、多少ともスペインに気のある方でも初耳ではないかと思えます。

*

まず、いつもの絵解きから。自分が動く時は勿論ですが、ヒトに話すときも地図がないとどうにも頼りないのです。地図大好き人間がいるのと同様に地図大嫌いというヒトが居ることは承知しています。Nなんかも一頃は地図を見ながら車に乗っていると酔っちゃう、とか言っていました、最近では自分から結構地図を見えています。

カアディスからは直行バスで約1時間。途中チクラナ Chiclana の町で5分ほど停まります。チクラナを出て、赤い自動車道N340をまたぐと、モウその先は一面の原野と牧草地。どの町へ行っても同じですが一歩町を出るとたちまち無人です。

*



町名の綴りは Medina Sidonia です。土地の人たちは単にメディーナと言うらしい。この綴り、なんとなくスペインっぽくないな、と思いませんか？

町の観光案内所で貰ったパンフを見ると、この地に最初に住み着いたのはフェニキア人らしい。その後、他のアンダルシアの古い町と同じように、ローマ人、続いてムーア人の歴史が続きます。

町の名前もフェニキア人の名残らしい。西和辞典によると、**medina** とは北アフリカ諸都市の旧市街、または、イスラム教徒の居住地区、としているし、英和でも殆ど同じことを言っています。同名の固有名詞としては、回教徒の聖地、サウディ・アラビアのメッカと並ぶメディーナ(アラビア語では **al-Madīnah**) が有名ですね。
とにかく **Medina** は町を指すらしい。

次に **Sidonia** は、色々な観光案内で、言っていることがマチマチです。その中で最もそれらしいと納得できるのは次のとおり。フェニキアの海港都市 **Sidon**、現在のレバノンのサイダー **Saidā** という所、これが町の名前の由来だというものです。即ちシドン **Sidon** の人の町。でも綴りそのものはアラビア語からではないかと思っています。

*

さて、地図の赤い自動車道をまたいでからは山の麓まで牧草地の所々に酪農家らしい家がぼつんぽつんと何軒かあるだけ。その牧草地や原野はマッターラではなくて、緩やかな起伏が連続しています。所々でウサギやシカが見えてビックリ。

*



これが、メディーナの麓。チクラナからメディーナに通じる新しい自動車道の建設工事でいたるところ掘り返されていました。私達の感覚では新しい道路が必要なほ

どの交通量ではないんですが、この町も車社会になりつつあるだろうし、夏になって観光客が多くなると混雑することもあるのか？

私達が見た町の様子は多くの観光客が押し寄せるような感じはなく、どちらかというところの手の町としては今までで一番素朴な感じでした。自動車道を作れば町が活性化すると期待しているのか？

中央のひときわ高い塔は例によって教会の鐘楼、そのすぐ右側に城址がつながっています。どこへ行っても宗教と政治がつるんでいたことがアリアリです。そういう国で、宗教との訣別をはかり、宗教と教育を分けた現政権の勇気は大したもんです。保守層の反発も根強く続くでしょうが、でもいずれは・・・。

*

私達がここへ行ったのは一月の末でしたがバスを降りて歩き始めるとすぐ汗ばんでくるような陽気でした。



町の入り口、即ち旧市街の街並の一番下でバスを降りると、それから道は登り一方。一番低いところにバス停があってソコが終点だし、旧市街の道路は上の写真が一番まともな道なんだから仕方がありません。バスなんかとても入れない。

だけど観光客を呼びたいのなら、前に行ったアルコスのようにミニバスでも走らせてらドウだ、と思いますけどね。たとえ、観光客なんか「イラン」でも、「住民のために」とは考えないのでしょうか？

「まだ」元気な私達は辺りを見ながら、楽しみながら登ってゆきましたが、足の不自由な住民はどうするのでしょうか？

しかも、観光案内所は旧市街の最高地点、アノ教会の前にあるんですよ。バス停から

ソコまで延々と続く上り坂を30分以上。これでは観光客はクルナと言わんばかり。
実は本音はそうなんじゃないかとカンگریたくなります。

市当局は観光なんかどうでもイイ、どうせそんなものでここに落ちる金は知れたもんだ、と思ってるんじゃないか。案内所の設置も観光パンフも州か国の観光局の命令で仕方なくやってんじゃないだろうか？とさえ考えたくになります。

その観光案内所までは車が入って行けるんです。だったらやはり、ミニバスの運行を考えるべきではないか？ 車で来る客だけを考えていると、それでなくても狭くて不便な旧市街の道は今にニッチもサッチも行かなくなるかもしれない。

公共の足を確保することが市当局の役目ではないか？ ミニバスの運行に踏み切れば住民だってゼヒ必要というヒト以外、車を持たなくてすむ。

道は狭い、駐車場もないこんな町ではミニバスの運行は急務だと思いますけどね。イヤ、便利でなくてもイイ、絶対スタイルを変えない、というのがこういう町の良さかもしれない。じゃあ自動車道の建設はなんナンダ？

この町でも例のアルコスでも、山の麓には新市街が出来つつあって車世代の若夫婦はみんなソッチへ逃げていってしまうらしい。結局不便な山の上に残るのは、それでもなくても足元がタイヘンな年寄りばかりになってしまうんですね。

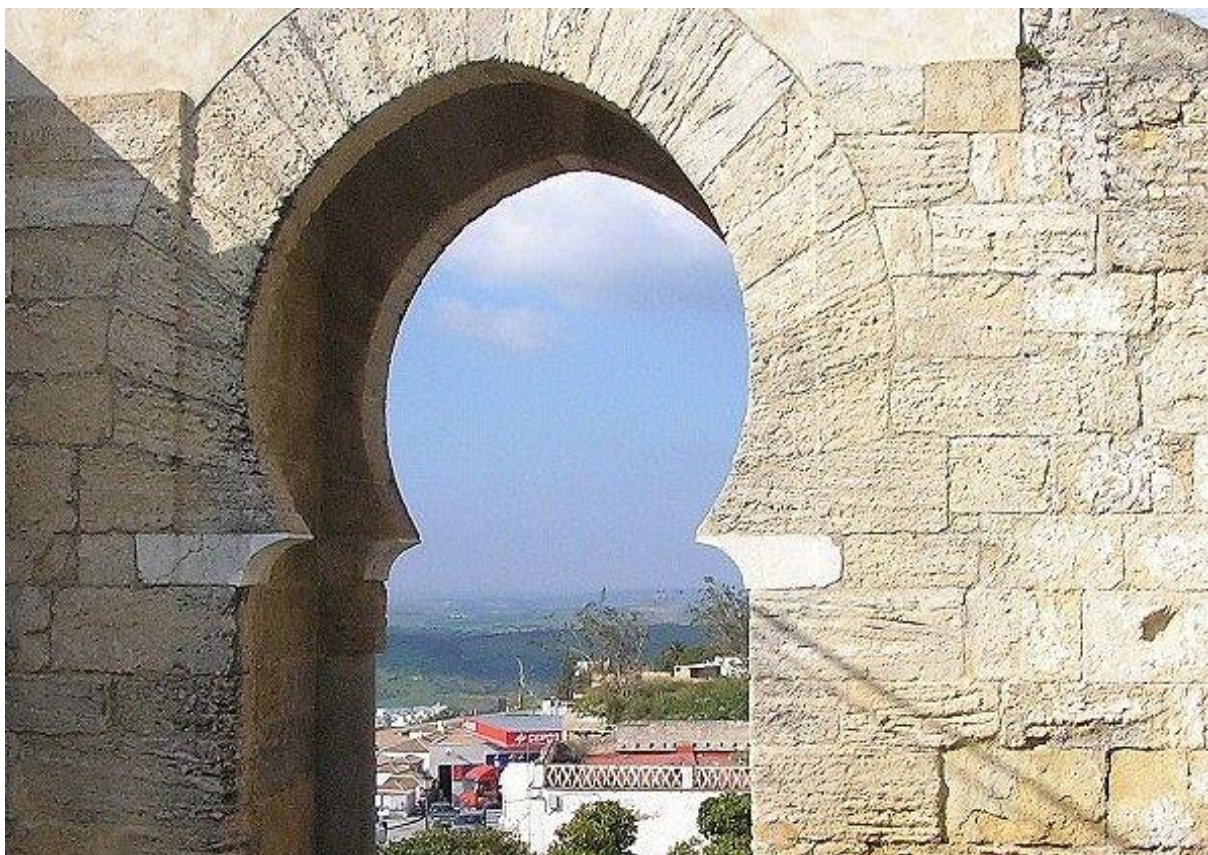
やはり市長サンにはもっと考えてもらったほうが良さそう。それにしても、なんでこんな不便な山の上にばかり住もうとしたのか？ アルコス然り、ベヘール然り、そしてこのメディーナも。40年間海拔“0”にいた人間には理解できません。



市街の一番上、観光案内所の近くから見た教会。この右隣に城址があって、これら二つが辺りを睥睨する格好です。日干し煉瓦を重ねたこのアーチの造りは多分ムーア人のもの。あちこちの町にあるムーアの城、アルカサーバには多用されています。

*

最後はお馴染みのイスラムのアーチ。
これは間違いなくムーア人の、比較的新しいもの。



ソロソロ制限容量です。来週に続きます。 *Hasta la próxima.* (デハ、マタ)
